

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月6日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 道夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	29,331	△5.1	980	△37.6	1,140	△32.0	681	△39.3
2018年3月期第3四半期	30,903	6.8	1,570	△13.4	1,675	1.2	1,122	21.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 639百万円(△63.9%) 2018年3月期第3四半期 1,769百万円(27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	35.26	—
2018年3月期第3四半期	58.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	51,112	25,587	48.4
2018年3月期	51,009	25,172	47.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 24,746百万円 2018年3月期 24,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	0.5	1,800	△13.3	1,800	△14.7	1,100	△20.9	56.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期3Q	19,521,444株	2018年3月期	18,521,444株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	189,826株	2018年3月期	189,819株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年3月期3Q	19,331,623株	2018年3月期3Q	19,331,714株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 所在地別セグメント情報	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に緩やかに成長を続けているものの、長期化する米中貿易摩擦の影響等、先行きはより一層不透明な状況となりました。

わが国経済におきましては、底堅い設備投資に支えられ、景気は回復基調で推移した一方で、海外経済の不確実性等に伴う下振れリスクは依然として残りました。

このような中、当社グループにおきましては、積極的な営業活動を展開するとともに、徹底したコスト削減に努めました。

しかしながら当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、当第3四半期連結累計期間の総売上高は29,331百万円（前年同期比1,572百万円減）、営業利益は980百万円（前年同期比589百万円減）、経常利益は1,140百万円（前年同期比535百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は681百万円（前年同期比440百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

なお、セグメント情報に記載の通り、報告セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

<家庭用機器事業>

海外ミシン市場におきましては、先進国市場に向けて新製品を投入するなど、各販売チャネルを通じて拡販に努めました。また、国内ミシン市場におきましては、全国各地でソーイング教室を開催し、ミシンに触れる機会を提供するなど需要喚起に注力いたしました。

その結果、ロシアや北米市場では、低・中価格帯製品を中心に売上を伸ばしたものの、重要市場の一つと位置付けている欧州市場や、中東及び中南米などの新興国市場の停滞感は依然払拭されず、また国内ミシン市場においても苦戦が続いたことから、海外・国内ミシンの販売台数は113万台（前年同期比6万台減）となり、家庭用機器事業全体の売上高は21,612百万円（前年同期比1,498百万円減）、営業利益は646百万円（前年同期比513百万円減）となりました。

<産業機器事業>

産業機器事業におきましては、卓上ロボットは、スマートフォンをはじめとする情報端末機器の出荷が低迷していること等により、精密機器関連企業からの受注に一服感が見られたものの、底堅い市場環境のもと、堅調に推移いたしました。また、エレクトロプレスは、自動車関連企業からの受注が引き続き好調に推移し、第3四半期連結累計期間で過去最高の販売台数を更新いたしました。一方でダイカスト鑄造関連事業は、取引先の生産調整による影響を受けたことにより、伸び悩みました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は5,426百万円（前年同期比95百万円増）、営業利益は182百万円（前年同期比45百万円減）となりました。

<IT関連事業>

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理のアウトソーシング等を行うIT関連事業の売上高は1,746百万円（前年同期比149百万円減）、営業利益は156百万円（前年同期比9百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は51,112百万円（前連結会計年度末比102百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加、商品及び製品の増加等により23,409百万円（前連結会計年度末比493百万円増）となりました。固定資産は有形及び無形固定資産の減価償却等により27,702百万円（前連結会計年度末比391百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が賞与引当金の減少等により17,017百万円（前連結会計年度末比142百万円減）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,507百万円（前連結会計年度末比169百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金等の増加により25,587百万円（前連結会計年度末比414百万円増）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から96百万円減少し、6,022百万円（前年同期比446百万円減）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,157百万円、売上債権の増加359百万円、たな卸資産の増加243百万円などによる資金の増減があり、908百万円の資金の増加（前年同期は1,645百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備・金型等の有形固定資産の取得による支出618百万円などにより、758百万円の資金の減少（前年同期は514百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額191百万円などにより、212百万円の資金の減少（前年同期は1,387百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2018年10月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293	6,597
受取手形及び売掛金	7,368	7,714
有価証券	341	—
商品及び製品	4,984	5,258
仕掛品	668	718
原材料及び貯蔵品	2,856	2,736
その他	629	625
貸倒引当金	△227	△241
流動資産合計	22,916	23,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,100	5,911
土地	14,471	14,464
その他（純額）	2,357	2,425
有形固定資産合計	22,929	22,801
無形固定資産		
その他	1,108	1,085
無形固定資産合計	1,108	1,085
投資その他の資産	4,055	3,815
固定資産合計	28,093	27,702
資産合計	51,009	51,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,007	3,002
短期借入金	10,980	11,019
未払法人税等	293	239
賞与引当金	520	363
その他	2,358	2,391
流動負債合計	17,159	17,017
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,433	3,433
退職給付に係る負債	4,485	4,351
その他	757	722
固定負債合計	8,677	8,507
負債合計	25,836	25,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,116	7,605
自己株式	△325	△325
株主資本合計	18,164	18,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	99
土地再評価差額金	6,660	6,660
為替換算調整勘定	△301	△386
退職給付に係る調整累計額	△384	△278
その他の包括利益累計額合計	6,145	6,094
非支配株主持分	862	840
純資産合計	25,172	25,587
負債純資産合計	51,009	51,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	30,903	29,331
売上原価	18,701	17,911
売上総利益	12,202	11,419
販売費及び一般管理費	10,632	10,439
営業利益	1,570	980
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	44	40
為替差益	71	89
その他	79	135
営業外収益合計	211	282
営業外費用		
支払利息	77	63
その他	27	58
営業外費用合計	105	122
経常利益	1,675	1,140
特別利益		
固定資産売却益	32	32
特別利益合計	32	32
特別損失		
固定資産除売却損	22	15
特別損失合計	22	15
税金等調整前四半期純利益	1,685	1,157
法人税、住民税及び事業税	331	354
法人税等調整額	207	113
法人税等合計	539	467
四半期純利益	1,146	690
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122	681

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,146	690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△72
為替換算調整勘定	475	△83
退職給付に係る調整額	101	105
その他の包括利益合計	623	△50
四半期包括利益	1,769	639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,694	629
非支配株主に係る四半期包括利益	74	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,685	1,157
減価償却費	1,022	1,002
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△352	△135
受取利息及び受取配当金	△59	△57
支払利息	77	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△955	△359
たな卸資産の増減額 (△は増加)	263	△243
仕入債務の増減額 (△は減少)	347	△12
その他	△50	△106
小計	1,979	1,309
利息及び配当金の受取額	66	63
利息の支払額	△76	△63
法人税等の支払額	△324	△400
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,645	908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△76	△395
定期預金の払戻による収入	60	276
有形固定資産の取得による支出	△442	△618
有形固定資産の売却による収入	88	59
その他	△144	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△514	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△639	97
長期借入金の返済による支出	△442	—
配当金の支払額	△190	△191
その他	△115	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	△212
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△33
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△194	△96
現金及び現金同等物の期首残高	6,663	6,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,469	6,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,111	5,331	1,895	30,338	565	30,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	568	311	912	298	1,210
計	23,143	5,899	2,207	31,250	863	32,114
セグメント利益	1,160	228	166	1,554	△13	1,541

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,554
「その他」の区分の損失(△)	△13
セグメント間取引消去	28
四半期連結損益計算書の営業利益	1,570

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,612	5,426	1,746	28,785	546	29,331
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	579	348	958	276	1,235
計	21,643	6,006	2,094	29,744	822	30,566
セグメント利益	646	182	156	985	△27	958

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	985
「その他」の区分の損失(△)	△27
セグメント間取引消去	21
四半期連結損益計算書の営業利益	980

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「I T 関連事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、当社の共通費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	20,369	4,895	445	5,193	30,903	—	30,903
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,515	—	11,710	0	17,226	(17,226)	—
計	25,885	4,895	12,155	5,193	48,130	(17,226)	30,903
営業利益	864	168	322	166	1,521	48	1,570

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	18,750	5,122	509	4,949	29,331	—	29,331
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,311	—	12,137	15	19,464	(19,464)	—
計	26,061	5,122	12,647	4,964	48,796	(19,464)	29,331
営業利益	869	234	295	106	1,505	(525)	980

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,194	7,538	7,866	20,599
II 連結売上高(百万円)				30,903
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.8	24.4	25.5	66.7

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,416	7,447	6,843	19,707
II 連結売上高(百万円)				29,331
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	18.5	25.4	23.3	67.2

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米………米国、カナダ

② 欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米